

聞きなれない言葉

野瀬隆平

ある著名人の話を聴いていたら、全く知らない言葉が出てきた。

「ギユられる」というのだ。人工知能に関する話だったので、「ギユ」は「シンギュラリティ」に由来することだと思った。シンギュラリティとは技術的特異点のこと、AIが人間の知能を超え、社会や文明に予測不可能な変化をもたらす転換点を意味する。

アメリカのカーツワイルが2013年に、それは2045年に到来すると唱えた。しかし、予想以上の速さで進化して、すでに特異点に来ている、いや遅くとも2〜3年後には達するというのが、一般的な認識となっている。

ところで、「ギユられる」とは、具体的にどういうことなのか。技術的特異点に達したときに、人が職を失うことである。今まで人間がやっていた仕事はAIに取って代わられ、失職してしまうのである。

どんな人たちがギユられるのか。その筆頭にあげられるのが、若手サラリーマンで定型的な事務作業や資料集めをしている人たちである。このような仕事はAIの方がはるかに効率的で、²⁴ 時間文句を言わずにやり続ける。

ちなみに、この「ギユられる」の意味を、Chat GPT に訊いてみた。何度かのやり取りの後、こんな返事が返って来た。その一部を引用する。

「ギユられる」とは、「シンギュラリティ」の後半のギユを取り、「ユられる」を付けた、インターネットやAI 境界のくだけた表現です。まだ辞書に載るような正式な言葉ではありません。

意味としては、例えば次のように使われます。

- 仕事がギユられる… AI の進歩によって、その仕事が自動化・代替される。
- 人間がギユられる… AI が人間の能力を追い越し、人間の役割が大きく変わる。

つまり、「技術的特異点の到来によって影響を受ける」という意味合いです。

シンギュラリティとは、AI が人間の知能を超え、自ら改良を重ねることで技術進歩が急激に加速するとされる仮説です。

さて、この様に便利なAI に頼っていると、自分も人間としての存在意義が薄くなり、ギユられてしまうのかも知れない。